

数学

<全体分析>

試験時間	80分	解答問題数	6題
------	-----	-------	----

<p>解答形式 [1], [2], [3]はマーク式, [4], [5], [6]は記述式</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)</p> <p>出題の特徴や昨年との変更点 典型的な問題の出題が中心であるが, 質, 量ともに重い計算が求められる. 図形的センスも問われる.</p> <p>その他トピックス 特になし</p>

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	三角関数	II	2倍角, 3倍角公式	標準
(2)	図形と方程式	II	三角形の面積, 線分の長さ	標準
[2]	不等式	I	絶対値付きの不等式を満たす整数を求める	標準
[3]	数列	B	数列の和, 部分分数に分ける	標準
[4]	確率	A	平面上を移動する点の確率, 条件付き確率	標準
[5]	指数・対数関数	II	対数を用いて不等式を満たす整数を求める	やや難
[6]	微分法	II	放物線の接線	やや難
[6]	空間ベクトル	C	球面, 平面, 直線, 三角形の面積の最小値	やや難
[6]	図形と方程式	II	2円の共通接線	標準
[6]	積分法	II	放物線と直線で囲まれた図形の面積	標準
[6]	図形と方程式	II	直線の通過しない点	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>標準的な問題が出題の中心であるが, やや難しい問題, 計算量の多い問題も出題される. 例年「数列, 確率, 指数・対数関数, 空間座標, 微分法・積分法」は出題されるので, これらの分野は特に学んでおきたい. なお, 英数のマーク式の部分が一定の点数に達しないと, [4]~[6]の記述部分は採点されないので注意が必要である.</p>
--